

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年6月1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870300878		
法人名	有限会社 ケア・コンフィデンス		
事業所名	グループホーム しょうわ家族	ユニット名	亀
所在地	〒300-0877 茨城県土浦市荒川本郷218-173		
自己評価作成日	平成22年9月30日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年11月4日	評価確定日	平成23年3月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・玄関の施錠はせず（やむを得ない時以外）、開放的なケアをしており、それぞれができる限り自由に過ごせるようにしている。・行事等を通じて近隣の方との交流を大事にしている。・ボランティアを積極的に受け入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>入浴は週6日支援しており、利用者一人ひとりに応じたケアに努めている。</p> <p>事業所の庭で採れる新鮮な野菜を食材に取り入れている。</p> <p>子どものための緊急避難所である「こども110番の家」として協力するなど、地域に貢献している。</p> <p>地域との結びつきを大切にし、地域のボランティアの方々の来訪を定期的に受け入れ、利用者が交流を深められるよう支援している。</p> <p>ゲームやレクリエーションなど多様なプログラムを用意し、何をするか利用者自身が決定できるような場面づくりをしている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づきよりよいサービスが提供出来るよう努めているが、まだまだ努力が必要かと思われる。	「利用者が自由と尊厳を持って主体性のある生活を送れるよう、質の高いサービスを提供する」を旨とした理念を作成している。 理念は法人設立当時のままだが、利用者の尊厳を大切にして地域の一員として自由な生活が継続できるよう支援している。 代表者や管理者、職員はミーティングなどを通して理念を共有し日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭り、芋煮会等の行事や近所の美容室を利用するなど、交流を深めている。	自治会に加入するとともに、利用者は夏祭りや芋煮会など地域の行事に参加しているほか、散歩時には近隣住民と言葉を交わしたり、地域の美容室を利用している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々への積極的な地域貢献はないが、要望があればいつでも対応できる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度会議を開催。内容は議事録にて全スタッフに公開。サービス向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、事業所の現状や行事計画などを報告するとともに、議事録を作成し全職員で共有している。 会議で出た意見等はミーティングで話し合い、サービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者が、運営推進会議や施設行事に出席するほか、市担当者から情報提供を受けたりなどの協力関係を築いている。	市担当者が運営推進会議に出席し情報を得ているほか、事業所の課題について相談するなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	原則的には玄関の施錠はせず、転落防止のベット柵は家族の了解を得て必要に応じて使用するなど、身体拘束をしないケアに取り組んでいるといえる。しかし、知識としてさらに学ぶ必要性はある。	前回の外部評価結果で課題となった身体拘束に関するマニュアルを作成しているほか、全職員で研修受講も実施している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止には十分努めており、見過ごされる事がないよう目配りしている。しかし、学ぶ機会がない為、今後検討したい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について学ぶ機会や活用する場面がない。今後学ぶ機会をつくり理解を深めたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が項目通り行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者とは普段の会話の中から、家族とは面会時や電話などで随時相談や要望を聞き対応している。	家族等の面会時や電話時に要望を聴くほか、日々の生活の中で利用者から出た意見などを運営に反映させている。 毎月発行する事業所便り発送時に利用者の生活状況を記載して日頃の様子を伝え、家族等の意見や要望が出易くなるよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ケア会議の場を活用。意見等を聞いて反映させている。	代表者や管理者は日々の記録やミーティング、申し送り、ケア会議などで職員の意見や要望を聞き運営に活かしているが、不満や苦情は言い難い部分も多いので把握しきれていない可能性もある。	代表者や管理者は、言い出し難い職員の不満や苦情などを汲みあげるよう、工夫することを期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい環境であるよう努めているが、さらに向上心を持って働けるよう努力する必要があると思われる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	なかなか研修に行く機会が作れずにいる。少しずつでも良いので増やしていきたい。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	特別な取り組みは行われていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に関しては、本人からの相談は少なく家族との面談が主であるが、デイサービス利用者がGH入居になった際は、日頃のデイでの様子などが関係作りに大きく役立っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望、不安等の相談にのりながら、よりよい関係が築けるよう努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	GH入居前にデイサービスを利用し、こちらの環境に慣れて頂いたり、関係作りをする事ができる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事は声かけしながら一緒に行ったり、共に笑ったり怒ったりと、表情豊かに生活している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から日々の様子や体調等などの話をしており、互いに相談しながら共に本人を支えていけるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人の訪問を何の制限もなく、いつでも受け入れている。全員の方とはいえないが、うまく継続できている方もある。	職員は利用者が地域に暮らす馴染みの知人や友人などの家に遊びに行ったり、昔から利用している美容室を継続して利用できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、職員が必要である時は仲介役となり調整、配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	全ての方とはいえないが、お便りや訪問して下さる方もあった。だんだん薄らいできているが、連絡があった時は十分な対応ができるようにしたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人との会話だけでなく、行動や表情からも本人がどうしたいのか理解し、手助けできるよう努めている。	職員は利用者との日々の係わりの中で表情や言葉から一人ひとりの思いや意向の把握に努めているほか、家族等の面会時に話を聴き、利用者本位のサービスに努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の他、ケアマネ、主治医などからも情報を頂き役立てている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の様子を見守りや観察し、スタッフ間で意見交換しながら把握している。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員、家族の意見は反映されている。本人とは改めて相談はしていないが、日頃の会話や様子から計画に結びつく事柄を見つけている。	前回の外部評価結果で、アセスメントやモニタリングが介護計画に十分に活かされていないことが課題となったが、モニタリングノートを作成するとともに、利用者の心身の状態の変化や家族等の要望などを記録して会議で検討するなど、介護計画に反映させるよう改善した。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に記入し、朝、夕の申し送り様子で伝え、ケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホームの他、デイサービス、デイホームを行っており、本人や家族のニーズに対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	積極的な協働はないが、地域のボランティアの方（歌・朗読・お茶・美容室等）が定期的に来て下さり、入居者を楽しませてくれている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望を考慮し、利用者それぞれのかかりつけ医を定期受診している。	利用者及び家族等が希望するかかりつけ医への受診支援のほか、協力医療機関の担当医や歯科医による定期的な訪問診療も実施している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護職員の配置はない。訪問看護の利用も亀ユニットでの利用はない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	管理者が行っており、情報交換に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	特段のチーム作りは行っていないが、家族とは事業所で出来る事を説明し、話し合いをしながら決めている。	利用者の重度化に向け、契約時に簡単なマニュアルで事業所の対応方針を説明し口頭で意思確認しているほか、利用者や家族等の意向の変化に伴い、その都度個別に対応している。	重度化や終末期に関する事業所の対応方針は、口頭説明だけでなく書面化して説明するとともに、段階毎に確認した利用者や家族等の意向は、意思確認書を作成して書面に残すことが望まれる。
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的な訓練は行っていない。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年1回避難訓練を行っている。前回、地域の消防団も参加して下さり、訓練の協力を頂いた。	マニュアルを作成し避難経路を確認している。 消防団の参加を得たり、事業所独自に火災訓練を実施しているが、前回外部評価で課題となった消防署立会いや近隣住民の参加を得た避難訓練を実施するまでには至っていない。 災害時に備え、乾パンや飲料水を備蓄している。	消防署立会いの避難訓練を実施するとともに、災害時に協力が得られるよう、運営推進会議や地域の集まりなどを活用し、近隣住民に避難訓練へ参加を働きかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけ、接し方に十分注意しながら対応している。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、日々の生活の中で利用者の言動に表れる思いを大切に考え、さりげないケアを心がけている。 職員はプライバシーを損ねない言葉かけに努めているほか、ちゃん付けやさん付けなど、利用者の好みに合わせて呼び名を使い分けるなど、一人ひとりに合わせた細やかな対応をしている。 失禁の時などは不安や羞恥心に配慮した対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の日常会話や様子から思いや希望を探るなどの努力をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせて、出来るだけ本人の希望を取り入れられるように配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	全員ではないが、馴染みの美容院や理髪店を定期的にご利用している。美容ボランティアも受け入れている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	果実の収穫、野菜の皮むき、お茶入れ等、できる事を楽しみながら行っている。	利用者は能力を活かして配膳や下膳を職員と一緒にしている。 職員は利用者と一緒に食事をしながら見守っている。 利用者が畑で作った野菜や、地域の人々から頂いた野菜を食材にして食事を作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量をチェックし、不足時は補水、代替品を用いて補給している。また、それぞれにあった食事量を考慮し盛り付けしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者全員の口腔状態は把握できていない。介助が必要な方に対しては、入れ歯の洗浄、歯磨きの介助、声かけを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者にあわせ、声かけ、トイレ誘導を行っている。リハビリパンツ、パット使用者はそれぞれその方にあった物を使用している。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけやトイレ誘導を行っている。 トイレ誘導の際は利用者の自尊心を尊重し、周囲に気付かれないよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防にミルミルを飲んでいる方もいる。水分を多く取るよう促したりしているが、さらに積極的な働きかけが必要である。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の体調や年齢等を考慮しながら入浴を行っている。	入浴は週6日実施している。入浴を拒む利用者には入浴時間や順番、職員を変更したり、シャワー浴や清拭など個々に応じた支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の体調を見ながら日中の休息を取り入れたり、夜間眠れない時は不安のないような声かけや見守りを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を手渡し、服薬の確認を必ず行っている。全利用者の薬の情報は1冊のファイルにまとめ、内容がすぐわかるようにしてある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	音楽会、体操、外気浴、作業（洗濯たたみ等）などそれぞれの利用者に応じて支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	頻繁ではないが、散歩などには出掛けている。家族との外出は自由に何の規制もなく出掛けてもらっている。外泊する方もいる。	職員は利用者が事業所周辺の散歩や美容室、買い物、ドライブ、事業所の行事、地域の行事など、希望にそって外出できるよう支援している。 家族等との外出や外泊は、制限無く出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金として、事務所で管理している。実際にお金を使用できる機会は上手く作れていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話が設置され、自由に使用できるようになっている。しかし、利用できる方はほんの1部で、かかって来る事がほとんどである。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内はユニットに関係なく、自由に行き来ができる。季節の掲示版、植物など季節感を取り入れている。	各ユニットの間には季節が感じられるよう、中庭を設けたりウッドデッキを設置している。 和室などの共用空間に行事の写真や写生画などを飾り、季節感や生活感を取り入れている。 共用空間ではユニット合同の体操や音楽などを楽しめるよう支援し、利用者はユニットに関係なく自由に行き来している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に行き来できるので、玄関先、畳、ベランダなど好きなところで寛げる空間になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や好きな物を自由に置いてもらっている。お仏壇を置いている方もいる。	利用者は居室に使い慣れた家具やベッドを置き、居心地良く暮らせるよう工夫している。 持ち込み品が少ない利用者の場合、家族等と相談し、安らぎを得られるような馴染みの物、古い物が環境づくりに欠かせないことを説明して協力が得られるように努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、各居室の表札など、ひと通り整備はされているが、特別な工夫はされていない。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームしょうわ家族

作成日 平成23年5月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練は実施しているが、入居者が重度化してきている傾向もあり、いざという時に不安がある。	①ホーム独自の訓練を継続するとともに、避難訓練の回数を増やす。	年3回の訓練を実施し、消防署へ訓練実施の報告をするとともに、助言を仰ぐ。	従来通り継続。(年3回実施はH23年度より行う)
			②地域の消防団や消防署立会いの避難訓練を実施する。	地域の消防団や消防署に訓練の協力を依頼する。	1年間(H23年度内)
2	11	運営に関して、職員の意見や提案を十分に活かしていない。	ケア会議の場をさらに活用し、運営に関しての意見や提案を活かせるようにする。	各ユニット管理者は、職員からの意見や提案があれば事前にまとめておき、会議ですぐに議題にかけられるようにする。	1年間(H23年度内)
3	33	入居者の重度化や終末期ケアの対応について書面化されていない。	事業所で行えることについて、御家族が理解しやすいように書面化し、説明する。	具体的に事業所で行えることや、他のサービスについて(例 訪問看護や訪問診療等)書面化し、十分な話し合いができるようにする。	1年間(H23年度内)

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。